

Relevant Disclosure

A vehicle carrying a pressure application device is disclosed in page 9, line 4 to page 10 line 6 of Japanese examined utility model specification publication 3-31063.

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-31063

⑬ Int. Cl.⁴

B 22 D 41/12
39/06

識別記号

A

庁内整理番号

6411-4E
6411-4E

⑭ 公開 平成3年(1991)3月26日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 溶湯の移湯装置

⑯ 実 願 平1-89474

⑰ 出 願 平1(1989)7月28日

⑱ 考 案 者 古 居 佑 介 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

⑲ 考 案 者 榎 喜 久 雄 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

⑳ 出 願 人 トヨタ自動車株式会社 愛知県豊田市トヨタ町1番地

㉑ 実用新案登録請求の範囲

取鍋運搬車両のエンジンの駆動軸に加圧装置である過給器が直結され、この過給器の吐出側に加圧給排気切替弁が配設される送気管の一端を接続し、この送気管の他端を取鍋運搬車両に積載される密閉構造とした移湯密閉取鍋の溶湯表面の上部空間部に連通させ、さらに、移湯密閉取鍋内に耐熱溶湯導管の一端を挿通させるとともに、耐熱溶湯導管の他端に移湯密閉取鍋とは別に設けた保持炉に移湯できる長さを有する樋を備えて成り、溶解炉から受湯した移湯密閉取鍋内溶湯の保持炉への移湯時に、エンジン回転数の上昇による過給器の加圧圧力により、移湯密閉取鍋内の溶湯を耐熱溶湯導管の一端から樋を経由して保持炉に加圧静流移湯するようにした前記加圧装置を、移湯密閉

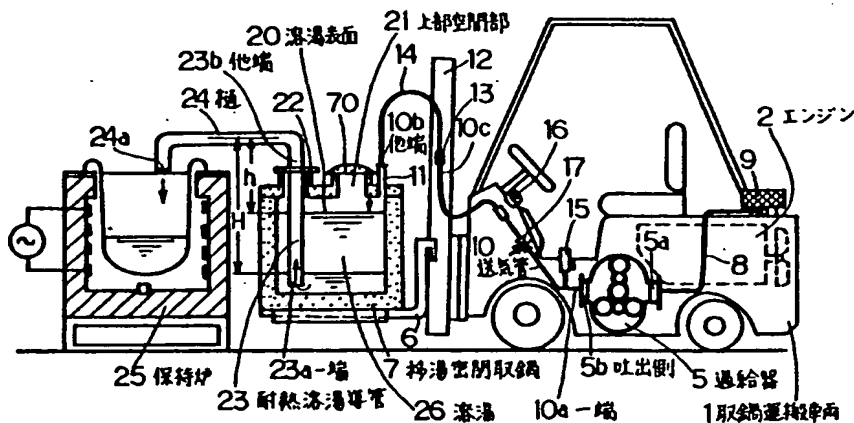
取鍋と一体に車載したことを特徴とする溶湯の移湯装置。

図面の簡単な説明

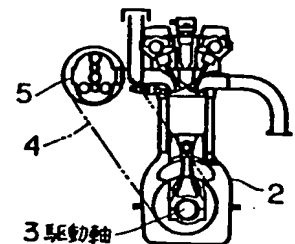
第1図から第3図までの図面は、この考案の実施例を示しており、第1図は本考案の概略全体構成図、第2図はエンジンの正面図、第3図は本考案要部の詳細図である。

1……取鍋運搬車両、2……エンジン、3……駆動軸、5……過給器、5b……吐出側、7……移湯密閉取鍋、10……送気管、10a……一端、10b……他端、20……溶湯表面、21……上部空間部、23……耐熱溶湯導管、23a……一端、23b……他端、24……樋、25……保持炉、26……溶湯。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

